

科目名	観光情報学	科目コード	1474	単位数	3
担当者名	三田村 保	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	講義	到達目標	F	実務経験	無
ナンバリング	JTb506	DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

● 授業のねらい

本講義ではICTを利活用した観光サービスの事例について学び、チーム制作により新しい観光に関するビジネスプランを企画・立案します。チームでのディスカッション・アイデア創出・プランの企画立案を通して、リーダーシップ、コミュニケーションなどの総合的な人間力を育て、新しい価値を創造・提案する能力の獲得を目的とします。また、本講義の成果を学外のビジネスコンテストなどへの応募を通してさらなる能力の向上を目指します。

● 到達目標

ICTを利活用したビジネスプランを企画立案することができ、リーダーシップ、コミュニケーションなどの総合的な人間力を育て新しい価値の創造・提案することができる。

● 授業内容

- 1週目 講義ガイダンス ICTを利活用した観光に関連するビジネスプランの提案
- 2週目 チーム編成（1チーム最大8名）、ICTを利活用した観光サービスの事例
- 3週目 情報収集・問題提起、ビジネスプラン創出、プロトタイプ開発環境の紹介
- 4週目 ビジネスプラン構築シート（個人）の作成
- 5週目 チームによるビジネスプランの企画
- 6週目 チームによるビジネスプランの作成
- 7週目 ビジネスプラン発表（1チーム3分）
- 8週目 システム概要書の企画
- 9週目 システム概要書の作成
- 10週目 システム概要発表（1チーム3分）
- 11週目 プロトタイプの企画
- 12週目 プロトタイプの開発計画策定
- 13週目 プロトタイプ開発
- 14週目 システムデモ（1チーム3分）、エントリーシート提出
- 15週目 プレゼンテーション（1チーム5分）、評価
- 16週目 振り返り・講評。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行います。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・各週3時間の予習・復習を行うこと。
- ・予習：資料は事前にLMSにて配布するので、要点を把握するとともに、不明点を明らかにしておくこと。
- ・復習：授業での指導・議論を振り返り、課題に取り組むこと。課題はLMSにて提出すること。

● 成績評価の方法・基準

- ・成績評価は11週以上出席した履修者を対象とし、課題や個人・チームでの活動内容をもとに評価します。

● 履修上の留意点

- ・私語や遅刻等で注意を受けて改善しない者は、不合格となることがあります。
- ・授業内で課題の提出、ビジネスプランの企画・プロトタイプ制作を行うので、ノートPC、タブレット端末などの持参を推奨します。
- ・グループワーク等のアクティブラーニングが中心となります。そのため、グループに迷惑をかけないよう欠席しないで受講してください。

● 課題に対するフィードバックの方法

- ・LMSにて提出された課題や発表に対し適宜フィードバックをします。

● テキスト

特になし。必要に応じて資料を配布します。

● 参考書

- 廣川州伸『観光業DX』（秀和システム）1760円  
 加藤弘治『観光ビジネス未来白書（2023年版）』（同友館）3080円  
 岡本亮輔『聖地巡礼 世界遺産からアニメの舞台まで』（中公新書）924円

● 更新日付

2024/01/24 03:02